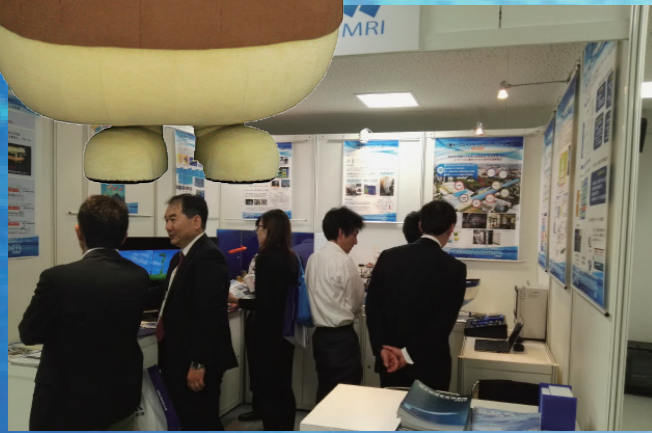


ブース番号は
A2-02 だけんね!

海技研はバリシップ 2019 に出展します!



© 第一印刷



GHG 削減に向けた海技研の取り組みと題して、船舶において多種・多様なエネルギーを利用する技術開発や省エネ性能に優れた内航船型・省エネ付加物に関して、研究所の最新の研究開発動向を展示・特別セミナー・展示ブースプレゼンテーションにて第一線の研究者が分かり易くご説明致します。ぜひ、ご来場ください。

出展社プレゼンテーションもやります!

海上技術安全研究所は下記、特別セミナーも開催します! 奮ってご参加ください!

日時: 5月23日(木) 15:40 - 16:40 (講演1と2を合わせて60分間)

会場: 展示会 C ゾーン 2F 特別セミナー会場 T-5

セミナーは
毎回大盛況!

1. ハード面からの温室効果ガス削減への取り組み -内航船型及び省エネ装置の事例-

講演: 流体設計系 実海域性能研究グループ長 久米 健一

トピックス: 海技研および内航船建造造船所、日本船舶海洋工学会で開発に取り組んだ省エネ性能に優れた内航船型を紹介いたします。同船型は CFD による最適化と水槽試験による精度の高い性能確認だけでなく、造船所による基本設計を経て実船建造が可能であることを確認済みとなっています。さらに、代表的な省エネ付加物である船尾ダクトおよび空気潤滑システムの適用拡大に向けた取り組みを紹介いたします。



久米 健一 氏

2. 船舶分野における地球温室効果ガス (GHG) 排出削減技術

講演: 環境・動力系 系長 平田 宏一

トピックス: 環境保護の観点から船舶から排出される地球温室効果ガス (GHG) の大幅な削減が必要とされています。海上技術安全研究所では、船舶において多種・多様なエネルギーを利用する技術として、水素やアンモニアのエンジン混焼実験や水素燃料電池の実船実験を実施しています。本講演では、これらの GHG 排出削減を目指した研究の概要を紹介いたします。



平田 宏一 氏

■日時: 5月23日(木) 11時00-11時30

■場所: セミナー会場 B

■タイトル:

「実船からの温室効果ガス排出量削減のための海技研の研究開発」

講演: 流体設計系 黒田麻利子 主任研究員

URL: <https://www.informa-japan.com/bariship/seminar/presen.php>



黒田麻利子 氏

何か面白そう
行ってみよかね!

トピックス: 現在、地球環境の保護のため、二酸化炭素などの温室効果ガス (GHG) の削減が必要とされています。船舶から排出される GHG についても、国際的に削減のための取り組みが行われている中で、海上技術安全研究所では、省エネ性能に優れた船舶の開発に向け、船型改良や船首や船尾に取り付ける付加物による省エネ技術の研究や、船舶を運航するためのエネルギーとなる多種多様な燃料についての研究を行っています。当講演では、これらの技術の概要について説明し、また同日実施される講演セミナーの見どころを紹介いたします。